

生徒心得

羽村第二中学校の生徒である自覚と誇りをもって、この心得を守り、実践しよう。

1. 学校生活

- (1) 予鈴までに登校する。
- (2) 登校後は無断で校外に出ない。
- (3) 欠席・遅刻・早退・見学等は、この手帳の記録欄に保護者に記入してもらい、担任の先生に届け出る。
- (4) チャイム前着席をして、授業の準備をする。
- (5) 持ち物には記名する。貴重品（現金・スマートフォン・携帯電話・時計など）は持ってこない。（必要な場合は、朝のうちに先生に預ける。）
- (6) 下校の時間を守る。（最終下校時刻は3月～10月は18:30、11月～2月は18:00とする。）
- (7) その他、何事もよく考え、わからないことは先生の指示・指導を受け、充実した学校生活が送れるように努力する。

2. 礼儀

- (1) 誰に対しても、気持ちの良いあいさつをする。
- (2) 職員室へは、あいさつをしてから入る。会議中には入らないこと。
- (3) 常に時と場所に応じた正しい言葉づかいを心掛ける。
- (4) お互いの立場を理解し、人格を尊重する。

3. 身なり

- (1) 標準服を正しく着用し、校章は決められた位置につける。
（スカート丈は膝が隠れる程度とする。カーディガン・セーター姿では登校しない。）
- (2) 教室内ではマフラー・コート・手袋等は着用しない。
- (3) くつ下は白色または黒色とし、くるぶしが完全に隠れる長さのものとする。
（靴下のワンポイントは可。ベージュ・黒色のストッキング・タイツ等を着用してもよい。）
- (4) 通学用の靴は、体育時にグラウンドで使用できる運動靴とする。
- (5) 髪型は清潔で学習や運動など学校生活にふさわしいものとする。
（肩より長い部分は、必要に応じて結ぶ。儀式は原則、結ぶこととする。）
- (6) かばんは、スポーツバッグ・リュック等とする。
- (7) アクセサリー、ピアスなど学校生活に必要なものは身に付けない。
- (8) コート・セーター・カーディガン・ベストを着用する場合は学校生活にふさわしい色のものとする。
- (9) ベルトの色は、黒色または茶色とする。

4. 施設・用具の利用

- (1) 公共物は大切に扱い、整理・整頓を心掛ける。
- (2) 特別教室とその準備室への出入りは先生の許可を得る。また、他の教室や空き教室には勝手に入らない。
- (3) 施設や用具を壊したときは、すぐに先生に届け出て指示を受ける。（破損時は弁償してもらうこともある）
- (4) 下校のときはカーテンを開け、消灯し、戸締りをする。

5. 清掃

- (1) 全員で協力して清掃に集中する。
- (2) 道具は丁寧に扱い、後始末をする。
- (3) 清掃が終わったら、区域担当の先生に報告する。

6. 通学

- (1) 交通ルールやマナーを守り、安全に心掛ける。
- (2) 下校時刻が遅くなったときは、できる限り複数人で下校する。
- (3) 通学は原則として徒歩とする。ただし、遠距離及び特別の場合で自転車を使用する場合は、学校の許可を得る。自転車通学許可区域は、栄町1、2、3丁目、緑ヶ丘5丁目1番地、神明台1丁目24～41番地、を住所とする。
- (4) 自転車通学を許可されたものは、学校で指定されたステッカー（赤・遠距離、黄・部活）を常時車体につけ、自転車置き場にきちんと置く。
- (5) 自転車乗車中はヘルメットを着用する。
- (6) 自転車は、シティーサイクルとしマウンテンバイク・ロードバイク等では通学しない。
- (7) 常にブレーキやベル・ライトなど車体の点検をして、整備しておく。
- (8) 自転車の2人乗り・2列以上の走行・片手ハンドルや傘をさしての運転など危険な乗り方をしない。
- (9) 自転車を使用する場合は、必ず保険に加入する。
- (10) 心得に違反したり、自転車点検で不合格になったりしたものは自転車通学を停止する。

7. その他

- (1) 家庭では規則正しく生活する習慣を身につける。
- (2) 家庭学習は毎日、計画的に取り組む。
- (3) 外出のときは、行く先・用件・一緒に行く人・帰宅時間等を家族に知らせておく。また、生徒だけでの夜間の外出や外泊はしない。
- (4) 地域の人々に協力して、良い環境づくりに心掛ける。
- (5) 法律に触れることは絶対にせず、悪い遊びや誘惑にのらないようにする。
- (6) 事故が発生したら必ず学校に連絡する。
- (7) 多摩川での遊泳は禁止とする。
- (8) 住所変更の場合はすぐに担任の先生に届け出る。
- (9) 下校後外出するときは、標準服から着替えて出かける。（標準服、ジャージ姿でコンビニ等に入らない）
- (10) スマートフォン・携帯電話・インターネット等の扱いについては、家庭や学校で決められたルールを守って使用する。

※生徒心得については変更になる場合があります。